

在線表示を中心とした旅客向け運行情報の提示方法

藤浪浩平 村越暁子 山内香奈 深澤紀子 土屋隆司 井上貴芳

ダイヤ乱れ時などにおいて、旅客が自分自身の行動を容易に決定できる運行情報を提供することは有益である。そこで、旅客を対象とした集合形式の質問紙調査と駅社員に対するインタ

ビュー調査を実施し、旅客の情報ニーズを把握した。この結果にもとづき、在線表示を中心とする運行情報の提示方法を提案し、大型ディスプレイで旅客向けに情報を提供する場面を想定

して駅社員に評価してもらった。その結果、導入初期段階では、表示内容の読み取り方に関する説明を求められるなどの負担が増える可能性はあるものの、旅客による積極的な活用が見込まれ、長期的に見れば、駅社員の負担は減るだろうという評価が得られた。また、出札窓口の社員が利用することで、新幹線等へ乗り継ぐ人に対して、列車の運行状態を考慮した乗車券類の販売と旅客案内が容易になるという指摘も出され、旅客のみならず駅社員にとっても有効であることが示唆された。

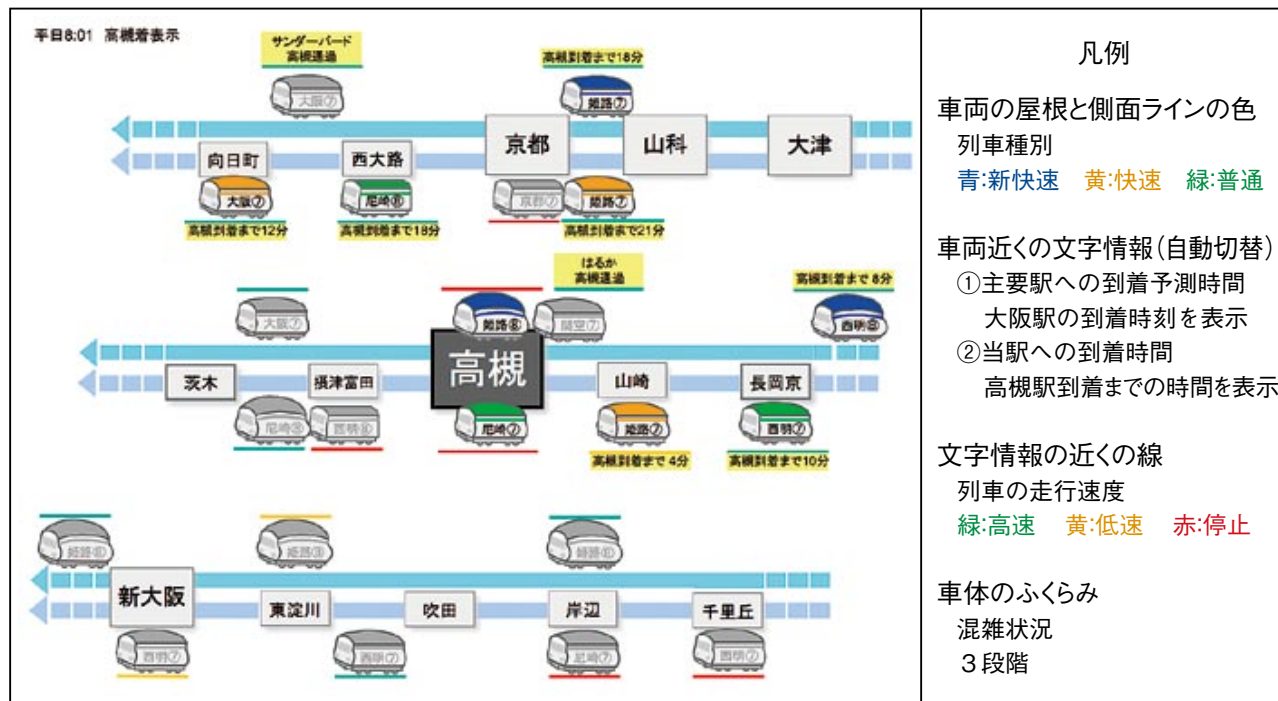


図 在線表示を中心とした旅客向け運行情報提供画面案

(鉄道総研報告, 2008年7月号)